

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 大津市開催結果について



令和 8 年 3 月 1 6 日  
総務常任委員会 報告事項 資料  
政策調整部 国スポ・障スポ大会局

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 1 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

### ●概要

- 滋賀県では昭和56年のびわこ国体・びわこ大会以来、44年ぶりの開催
- 当初、令和6年に開催予定であったが、コロナ禍の影響で1年延期して開催
- 滋賀県が中心となり競技力向上に努め、各会場での応援も後押しになり、滋賀県は、44年ぶり2度目の男女総合優勝(天皇杯獲得)を決め、女子総合優勝(皇后杯獲得)も手にした。(開催県の総合優勝は令和元年茨城大会以来4大会ぶり)



写真提供:いずれも滋賀県

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 2 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ広報啓発活動

### ●市民等への機運醸成

・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 Otsu Dream Festival(令和7年4月20日開催)

### ●市内装飾

・駅装飾(JR堅田・大津京・大津・膳所・石山・瀬田、京阪大津市役所前駅)

・商店街装飾(ナカマチ・大津駅前・膳所駅前・石山)

### ●公共交通機関ラッピング(京阪電鉄・京阪バス・帝産バス)

### ●大津市メインビジュアルの活用

### ●インスタグラムフォロワー数 3,126(最大)



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 3 大津市大会開催概要(大会来場者等)

- リハーサル大会来場者数 約 3万3千人
- 本大会来場者数 約17万人  
(当初想定約12万人)



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 4 大津市開催競技及び来場者内訳

大津市では、国スポで正式競技11競技、特別競技1競技、デモンストレーションスポーツ4競技、障スポで正式競技2競技、オープン競技1競技の合計19競技を開催した。

(単位:人・延べ数)

区分	項目	会期	選手・監督	大会関係者	観覧者※	合計
国スポ	正式競技(11競技) 特別競技(1競技)	会期前:9月6日(土)~9月15日(月・祝) 本会期:9月28日(日)~10月7日(火)	26,093	16,862	119,347	162,302
	デモンストレーションスポーツ(4競技)	5月11日(日)、5月25日(日)、 6月8日(日)、9月14日(日)	555	169	594	1,318
	計		26,648	17,031	119,941	163,620
障スポ	正式競技(2競技)	10月25日(日)~10月26日(日)	888	1,290	4,365	6,543
	オープン競技(1競技)	10月19日(日)	49	83	77	209
	計		937	1,373	4,442	6,752
合 計			27,585	18,404	124,383	170,372

※観覧者は、一般観覧者、OTSU DREAM IT CONTENTS参加者、来賓・招待者、報道員、視察員、学校観戦児童等、総合案内所利用者、出場校応援団を指す。

## 5 行幸啓・お成り

- 天皇皇后両陛下に令和7年9月29日のバドミントン競技を御覧いただいた。
- 佳子内親王殿下に令和7年10月7日のバスケットボール競技を御覧いただいた。
- 大会開催を契機に多くの皇族方に大津市の魅力に触れていただいた。



写真提供：滋賀県



写真提供：滋賀県

## 6 職員従事

- 消防局以外の全ての部局(11部局)に担当業務を割り当て
- 消防局は各会場の巡回やカヌー会場での救命業務を担当
- 従事職員数

○リハーサル大会 延べ 1,975人(令和6年度)

○本大会 延べ 4,077人(令和7年度)

内訳: 競技会場部 3,461人

医事衛生部 84人

総合案内部 30人(主要駅の総合案内所)

行幸啓・お成り部 198人(沿道の奉送迎対応含む)

消防巡回 304人



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 7 ボランティアの参加

- 市民参加(ボランティア)※リハーサル大会での活動数を含む

広報ボランティア登録者数: 61人

従事者数: 延べ 62人

美化ボランティア登録者数: 62人

従事者数: 延べ 26人

運営ボランティア登録者数: 1,125人

従事者数: 延べ 1,182人



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 8 子ども達の参加

### ● 花いっぱい運動

競技会場を花で装飾し、全国から大津を訪れる人をお迎えするため、市内の小・中学校等に協力を依頼し、サッカー競技会の会場である皇子山総合運動公園陸上競技場と国体広場を装飾した。(参加校数:12校)



### ● 手づくりのぼり旗

全国から来訪される選手達を応援・歓迎するため、市内の子ども達が都道府県別の応援のぼり旗や歓迎のぼり旗を製作し、各競技会場を装飾した。



	参加校数 (校・園)	製作枚数 (枚)
幼稚園	6	18
保育施設	19	58
児童クラブ	4	15
小学校	24	325
中学校	11	90
国立・ 各種学校	3	20
高等学校	2	20

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## ● 学校観戦

競技会場での観戦によりスポーツへの関心を呼び起こし、子ども達にスポーツに取り組もうとするきっかけづくりに繋げるため、市内の小・中・高等学校、各種学校等に案内し、学校観戦の機会を設けた。

行幸啓があったバドミントン競技会において参加した学校もあり、子ども達の思い出づくりにつながった。

- ・参加校数：延べ45校
- ・参加生徒・児童数：延べ5,950人



←体操(トランポリン)／滋賀ダイハツアリーナ

カヌー競技／瀬田川特設カヌー競技場→



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## 9 会場での取組

### ● OTSU DREAM IT CONTENTS

各競技会場に子どもたちを中心とした一般観覧者の思い出づくりとなるコンテンツを用意し、「国スポ・障スポの会場で競技体験が出来た」、「エスコートキッズを経験した」といった思い出に残る体験メニューを提供した。

(全34コンテンツ)

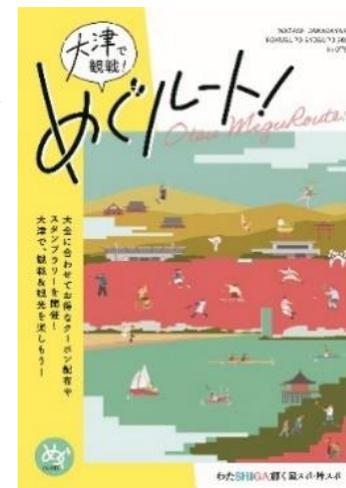



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## ● 観戦ガイドブック「めぐルート！」

大津市へ来訪される選手・監督、大会関係者、一般観覧者等に対して、大会開催概要に関する情報提供、来訪満足度の向上、大津市の魅力の周知及び市内への回遊の促進を目的に競技毎の開催情報や大津市の魅力をまとめたガイドブックを作成した。

※会場の最寄りである、瀬田の唐橋や建部大社、三井寺(園城寺)、琵琶湖疏水、大津市歴史博物館、石山寺、LAGO大津、ミシガンクルーズ等の施設への周遊があった。(スタンプラリーの結果による)



## ● きんまいブース(PRブース)

ガイドブックやパンフレット、ノベルティなどを配布し、大津市の魅力を発信した。



## ● 地域のふるまい

全国から訪れる選手・監督、大会関係者、一般観覧者等を歓迎・おもてなしし、本市の魅力を発信するため、学区自治連合会やまちづくり団体、学区スポーツ団体等の団体と連携して競技会場で特産品等のふるまいを行った。

- ・ふるまい提供数：約300個／（全競技会場、全競技日、のべ50日程）
- ・参加団体数：20団体

※参考：リハ大では、地域団体等、計14団体が参加し、各競技1日のみで実施



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## ● 輸送交通

一般観覧者の来場については、半径2キロ以内に鉄道駅がある施設は徒歩移動や公共交通の利用促進を基本とし、一部の会場ではパーク&バスライドを併用した。



## ● 警備

円滑な大会運営と、選手・監督や大会関係者、一般観覧者等の安全確保のために競技会場や練習会場、臨時駐車場での警備や警察署に立ち寄り巡回を依頼し警備の強化に努めた。

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## ● 医事・衛生

医師は、市内急性期4病院と大津市医師会、大津市歯科医師会から、看護師は、滋賀県看護協会第一地区支部から協力を得て確保した。

大津市薬剤師会に救護所の医療物品の確認（ドーピングに該当する薬品の排除）やシャペロンの派遣を依頼したほか、競技会場でアンチドーピング啓発活動ブースを設置された。



## ● 「OTSU国スポこだわり弁当」

国スポ開催時に、全国から来られる選手・監督等に大津市の魅力や特色を伝えるため、滋賀県や大津市の特産品・郷土料理を盛り込んだ、「OTSU国スポこだわり弁当」を提供した。



近江牛焼肉弁当



大津の歴史うなぎ弁当



近江地鶏つくね・そぼろ弁当



近江牛じゅんじゅん弁当



琵琶湖の恵み湖魚弁当

# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催結果

## ● 無料ドリンクコーナー

競技会場に設置する無料ドリンクコーナーでは、リハーサル大会と同じく大津市のPRに繋がる飲料水、お茶に加え、スポーツドリンクを提供した。



## ● ウォーターサーバー

滋賀県が主導し、開催市町が統一して取り組んだ「滋賀県らしい取組」のひとつとして、会場にウォーターサーバーを設置し、あわせてマイボトル持参を「広報おおつ」や競技別プログラム、ホームページ等を通じて呼びかけた。



## ● 売店

選手・監督、大会関係者、一般観覧者等の利便性を図るため、公募により売店を募った。

(公社)びわ湖大津観光協会等にも出店いただき、大津の銘菓等を販売いただいたことから、大津市のPRにつながった。



## 10 総合案内所の設置

総合案内所は、国スポの正式競技、特別競技の開催期間に、JR大津駅及び競技会場最寄駅として会場まで徒歩での来場を案内しているJRの3駅に設置し、大会PRのほか、大津市の観光情報等を提供した。

設置駅	最寄り会場等	開催競技
JR大津駅	選手・監督、大会関係者の宿泊施設	—
JR大津京駅	大津市柳が崎特設セーリング会場	セーリング
	皇子山総合運動公園陸上競技場	サッカー
	滋賀県警察学校射撃場	ライフル射撃(25m)
	マイネットスタジアム	高等学校野球(硬式)
JR膳所駅	ウカルちゃんアリーナ	フェンシング、空手道
JR石山駅	関西みらいローイングセンター	ローイング



## 11 誰もが楽しむことができる大会の実現

「滋賀県らしい取組」のひとつとして、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、多くの市民の参加により夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指し、合理的配慮の提供に努めた。

- ・従事者説明会において、「障害者に対しての合理的配慮の提供事例集」や「心のバリアフリー」推進のためのリーフレット(滋賀県実行委員会・龍谷大学作成)を活用
- ・競技会場や駅の総合案内所では、「耳マーク」を掲出し、筆談対応可能であることを発信
- ・授乳室・おむつ替えスペースやカームダウンスペースを全競技会場に設置



耳マーク



授乳室



カームダウンスペース



## 12 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会

大津市では、令和2年度に第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会大津市準備委員会を立ち上げ、その後、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会を設置した。(令和8年2月16日時点 委員数154人)

令和8年2月16日に第7回わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会を開催し、大会の開催結果報告とあわせ、実行委員会予算の決算や組織の解散等について審議いただき、全ての議案が承認された。

